

# 走行チェックシート

日付	2009年11月1日 (日)		時間	12:00 ~		イベント	2009 MFJ全日本ロードレースRd7 最終戦	
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 K9		ライダー	今野由寛	
コース	名称	鈴鹿サーキット東コース				気温	22 °C	
	コンディション	DRY				気圧	1010 hpa	
	路面温度	30.6 °C (計測時間 )				湿度	62 %	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10			エンジンOIL	シェルアドバンス RMG-001 #40		
	ファイナルレシオ	16 x 43(2.6875)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18		4th	B(31/21)	1.47	
	2nd	B(34/18)	1.88		5th	B(28/21)	1.33	
	3rd	B(36/22)	1.63		6th	B(26/21)	1.23	
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)			TEN	-7		
	スプリング	9.25		N/m	OIL	SR6 #5		
	自由長				油面	110 mm		
	イニシャル	14		mm	残ストローク	mm		
	COMP	-5			突き出し	STDトップブリッジで8mm突き戻し mm		
リア	パーツ名	SHOWA(316.5mm)			TEN	-11		
	スプリング	126		N/m	残ストローク	mm		
	自由長				リンク	STD		
	イニシャル	7.5		mm	リンクロッド	144(STD+2mm) mm		
	COMP(HI)	+3回転(MIN+3回転)			車高	STD+8.5mm ピボット±0mm スイング長595mm		
	COMP(LO)	-8						
タイヤ	フロント				リア			
	銘柄	ダンロップ			銘柄	ダンロップ		
	サイズ	125/80R16.5			サイズ	200/70R420		
	エア圧	2.1			エア圧	1.8		
チェック	順位	16			ベストラップ	52.202		
	水温	76		°C	油温	132 °C		
	ガソリン	IN			走行距離	km		
		OUT	-		燃費	km/ℓ		

<コメント>  
 あっという間に最終戦です。  
 しかも2ヒートレース、さらに東コース！！  
 ラップタイムは筑波よりも速いのです。コーナー進入まで見送るとすぐに最終コーナーから立ち上がってきます。  
 落としたボールペンを拾っているうちに通り過ぎてしまったなんて笑い話もあるくらいライダーもピットもせわしない感じです。  
 車体に関しては前回からの仕様でスタート。ネガだったフロントのダイブスピードを遅くする方向でレートを上げたが、ブレーキ時は良くなったが、S字の切り返しでフロントブレーキを握らないと沈めていられないとの事。  
 フルコースであればデグナーでのブレーキに合わせたレートにするが、東コースだけではガッツリブレーキを握らないので、Fの仕様を以前の状態に戻し、極端にレートを下げて油面を上げ動きやすいが奥でのしっかり感があるようにして予選スタート。  
 今回の予選結果は第一セッションの結果がレース1第二・三セッションの結果がレース2のグリッドになるようです。  
 動きは出たが入るスピードが速いのでCOMPをかけて第二セッションへ。  
 結局最終セッションには進めず、グリッド順位はレース1は16番手、レース2は17番手でスタートすることになりました。  
 朝フリーでダイブスピード対策としてフロントのレートを半ランク上げて、リアの接地感を出すためにHICOMPをかけていきます。  
 リアは良かったのですが、フロントは奥が使いにくくなってしまったので決勝では戻すことに。  
 決勝レースがスタートし、予選タイムに近いところで走っているのですが、他車のペースが速いので後退してしまいました。  
 結果16位、すぐに次のレースがあります。準備していたら西側から雨が・・・  
 あっという間にレインコンディションです。  
 レインタイヤに履き替え、サスも動くようにCOMP、TENを抜きレース2がスタート。  
 やはりペースが上がらず後退してしまい結果は16位でした。  
 今年は前半が良かったのですが後半にその勢いを繋げられなかった事が悔しいです。  
 一年間応援して頂いた皆様ありがとうございました。

レーシングサプライ  
 畑中 健太郎